

# 2002年度 沖電気東京・幕張地区環境レポート

(ネットワークシステムカンパニー)

## 目次

ごあいさつ	1
1. 東京・幕張地区概要	3
2. 東京・幕張地区の環境影響	3
3. 東京・幕張地区環境方針	4
4. 環境管理活動推進体制	4
5. 環境マネジメントシステム	5
6. 環境管理活動計画	5
7. 環境保護の取り組み	6
7.1 事業活動に対する環境保護の取り組み	6
(1) 省エネルギーの取り組み	6
(2) レスペーパーの取り組み	6
7.2 製品に対する環境保護の取り組み	7
(1) 製品設計段階における環境配慮	7
(2) 環境配慮型製品の開発	8
(3) 製品含有環境影響物質の抑制	8
(4) 使用済み製品のリサイクル	9
8. お問い合わせ先	10



## ごあいさつ

東京・幕張地区は、環境理念「一人ひとりが環境と調和したテクノロジーと地球環境を重視した企業活動に積極的に取り組み、世界の人々の幸福で豊かな社会の実現に貢献します。」のもと、全社の環境方針及び年度目標である「エコプラン 21」に準拠しつつ、地区としての特異性を加味して、「製品環境対策」と「事業活動環境対策」の二つの柱を中心に地区環境方針及び環境目標を定め、積極的な活動を展開しております。

特に、本地区は製品の生産拠点ではなく、情報通信装置の開発・設計拠点である所に特徴がありますので、「製品環境対策」の面ではこの点を踏まえ、製品の設計・開発段階において、開発から廃案に至る総てのプロセスにおける環境影響を予め評価し、製品の低消費電力設計など、環境に配慮した製品の開発・設計に努めております。

また、「事業活動環境対策」の面では、開発・設計拠点での空調・照明・OA機器などの運用方法を見直すことにより省エネルギー化に努めると共に、業務の効率化及び情報の電子化を推進してペーパーレス化に努めるなどの施策にも積極的に取り組んでおります。

このような環境管理活動も4年目を迎えており、設計段階における製品環境対策を日常の業務の中に取り入れて推進し、低消費電力化、小型軽量化など多くの成果をあげてきております。近年、特に注目されている有害物質の対策については、製品に含有する環境影響物質管理集計システム（弊社名称：COSMOS）を構築し、設計段階における含有量の削減と把握を実施しております。また、お客様からのご要求に対しタイムリーな情報提供も可能にしております。

なお、今後の製品環境対策の活動を更に強化するため、鉛フリーはんだの採用・グリーン調達・ライフサイクルアセスメントの実施などを重点施策とし、一層の環境パフォーマンスの向上にチャレンジしてまいります。



沖電気工業株式会社  
ネットワークシステムカンパニー  
プレジデント 畑 和徳

## 1. 東京・幕張地区概要

本報告は、東京・幕張地区(ネットワークシステムカンパニー)の2000年度環境管理活動の実績を対象としております。(2000年4月～2001年3月末)

東京・幕張地区では、情報通信機器の開発、設計業務を主な事業活動としており、地区使用される電力や紙などに加え、製品の環境負荷低減に関するテーマを中心に活動を推進しています。

名称	沖電気工業株式会社ネットワークシステムカンパニー
所在地	東京都港区芝浦4丁目10番16号本社5号別館 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目3番地幕張テクノガーデン
事業内容	情報通信ネットワークシステム及び装置の開発、設計

## 2. 東京・幕張地区の環境影響

年度計画の策定に際し、事業活動と製品の環境負荷を独自に評価し活動に反映させています。

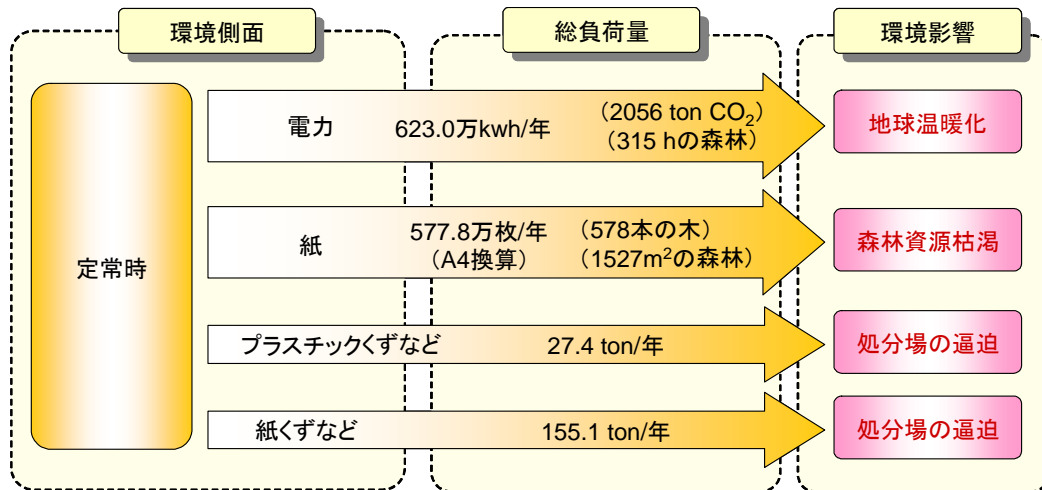


図2.1 事業活動における主な環境影響(2001年度実績)

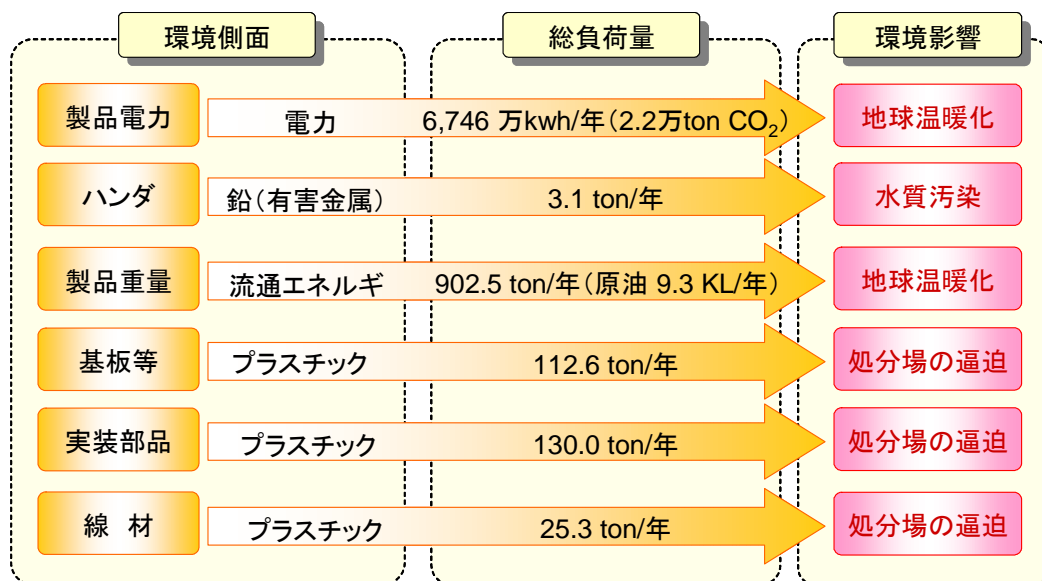


図2.2 製品における主な環境影響(2001年度実績)

### 3. 東京・幕張地区環境方針

#### 東京・幕張地区環境方針

当地区が情報通信装置を開発・設計していることを踏まえ、以下の環境基本方針に基づき環境管理を行います。

1. 全構成員に環境方針の理解と周知を徹底し、環境保全活動への意識の向上を図ります。
2. 東京・幕張地区環境管理委員会を設置し、全構成員一丸となって地球環境の保全活動を推進します。
3. 企業活動のあらゆる面において当地区が行っている事業活動、製品が環境に与える影響を把握し、環境目的・環境目標を定めます。
4. 環境目的・環境目標を達成するためのプログラムを定め、環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図るとともに、環境汚染の予防に努めます。
5. 環境関連の法規制、協定を遵守するとともに、自主管理基準を設定し、その達成に努めます。
6. 開発・設計段階において、商品の開発から廃棄に至るすべての段階における環境影響を評価し、商品の省エネルギー設計及びリサイクル化など環境に配慮した商品開発設計に努めます。
7. 空調・照明・OA機器などの運用方法を見直し、省エネルギーに努めます。
8. 業務の効率化、情報の電子化を推進し、ペーパーレス化に努めます。

—— 社外からの要求に対しては、この環境方針を公表する ——

1998年10月制定

2000年 4月改訂

沖電気工業株式会社

ネットワークシステムカンパニー

東京・幕張地区環境マネジメントシステム

経営者：理事(バイスプレジデント)堀口 孝雄

### 4. 環境管理活動推進体制

関連企業3社(沖通信システム、沖コムテック、沖デベロップメント、)を含んだ東京・幕張地区の環境管理推進体制を構築しています。ネットワークシステムカンパニーの主要生産拠点である製造サービスカンパニーおよび沖コミュニケーションシステムズについては、個々に ISO14001 規格の認証を取得し推進体制を構築しています。

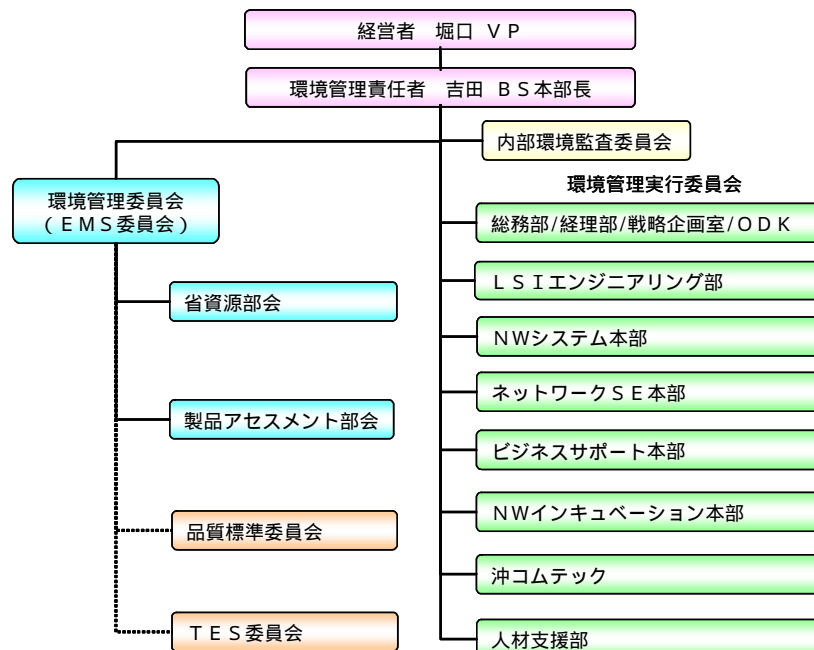


図4 東京・幕張地区環境管理推進体制

## 5. 環境マネジメントシステム

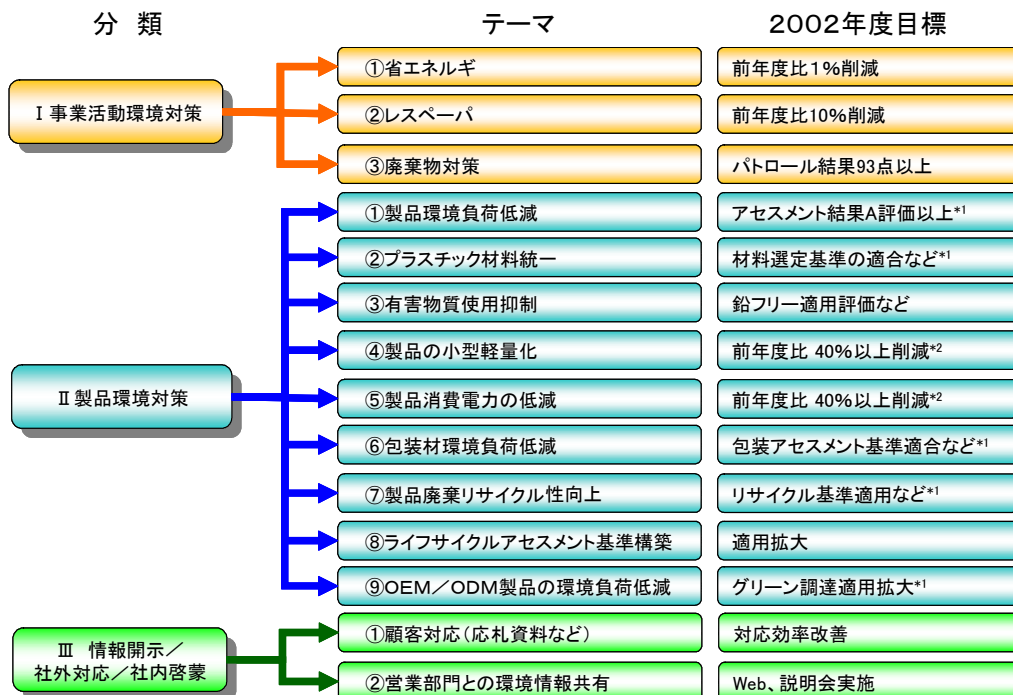
東京・幕張地区では、非生産拠点として沖電気グループで初めて「ISO14001」の認証を取得しました。本規格の要求を確実に実行し、製品の環境負荷対策を中心に継続的な改善に努めております。  
(認証機関：財団法人日本品質保証機構，登録番号：JQA-EM0388，登録日：1999年3月26日)



図5 東京・幕張地区環境マネジメントシステム登録証

## 6. 環境管理活動計画

2002年度の環境管理活動計画として、事業活動環境対策、製品環境対策、情報開示の3分類について合計14テーマの目標を設定しています。当地区は、製造部門を持たない製品開発設計の単独拠点であるため「製品環境対策」を重点に活動を展開しています。



\*1：各基準はネットワークシステムカンパニーの設定基準による

\*2：削減率は旧製品との比較による機能あたりの削減率

図6 2002年度環境管理活動計画の概要

## 7. 環境保護の取り組み

### 7.1 事業活動に対する環境保護の取り組みの概要

#### (1) 省エネルギーの取り組み

空調機器の間欠運転制御などの低消費電力型の付帯設備の導入や照明やOA機器の節電など、従業員の運用管理による省エネルギー活動を実施し、活動開始から6.8%の削減を実施しました。

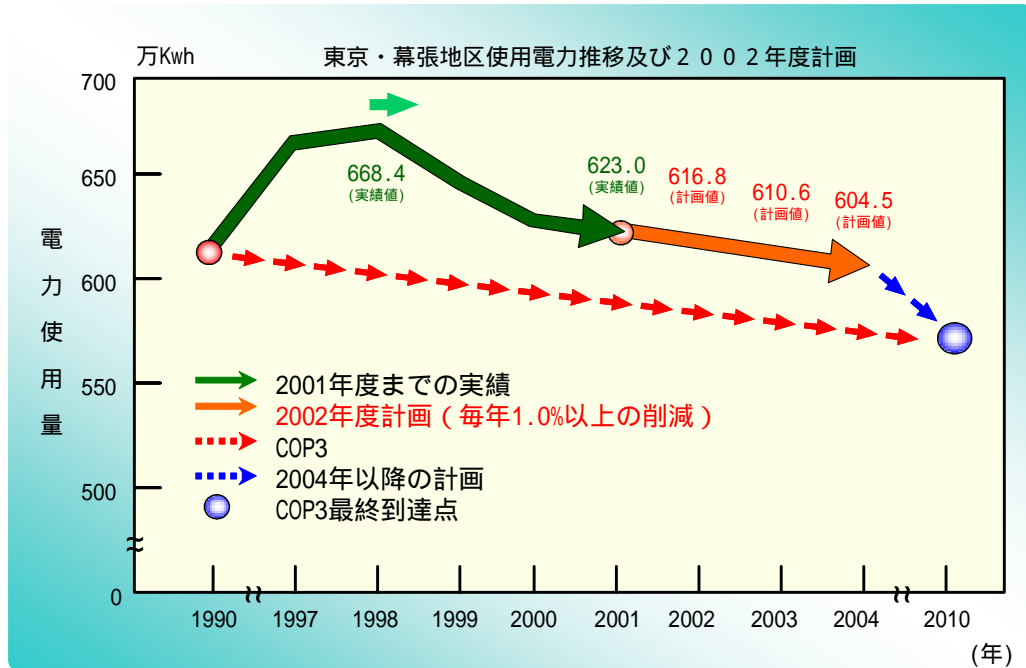


図7.1(1) 2002年度省エネルギー活動実績の概要

#### (2) レスペーパーの取り組み

社内ネットワークを利用した「電子文書管理システムの活用」を中心とした施策により、1997年度比70%の大幅削減を実施しました。また、資料の電子化やプロジェクトを使用したご提案など、お客様からのご協力により成果をあげております。

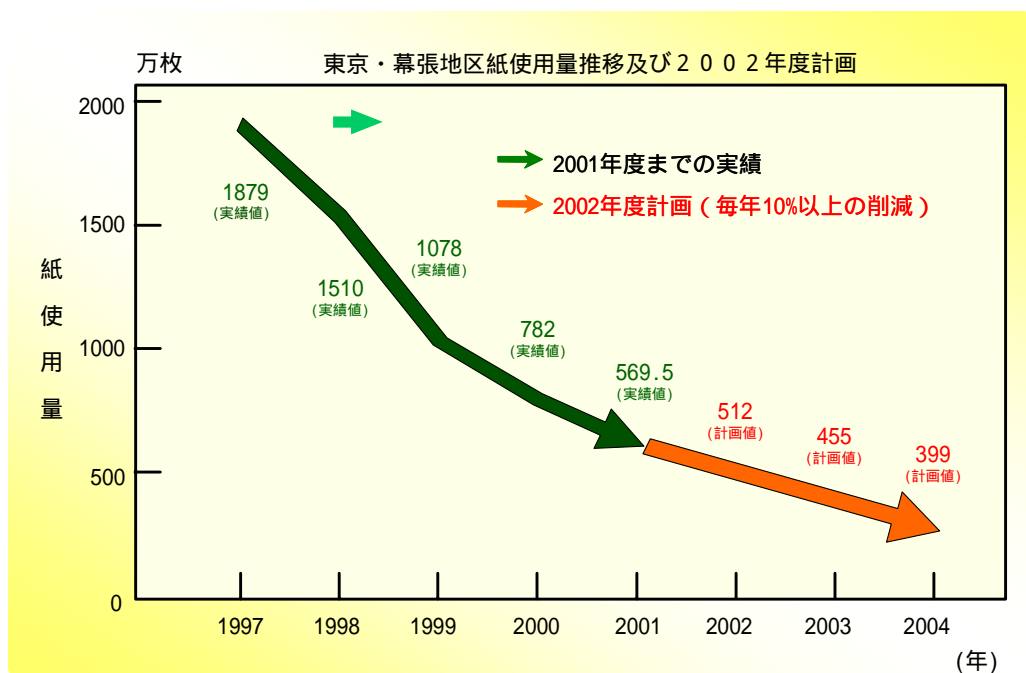


図7.1(2) 2002年度レスペーパー活動実績の概要

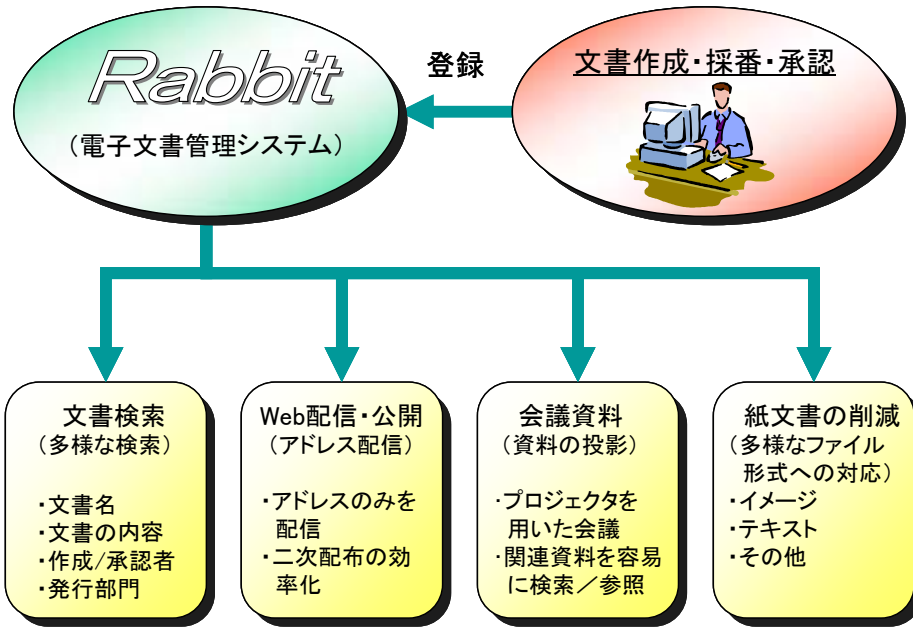


図7.1(3) 電子文書管理システムの概要

**7.2 製品に対する環境保護の取り組みの概要**

(1) 製品設計段階における環境配慮

東京・幕張地区では、製品アセスメント実施基準を制定し「電力消費量」「小型軽量化」「有害物質含有量」及び「包装材」などの製品環境負荷項目についてアセスメント実施しております。2001年度からは、従来の評価項目に加えて、沖電気エコ商品登録基準を追加適用し、環境負荷の総合的な削減に努めております。

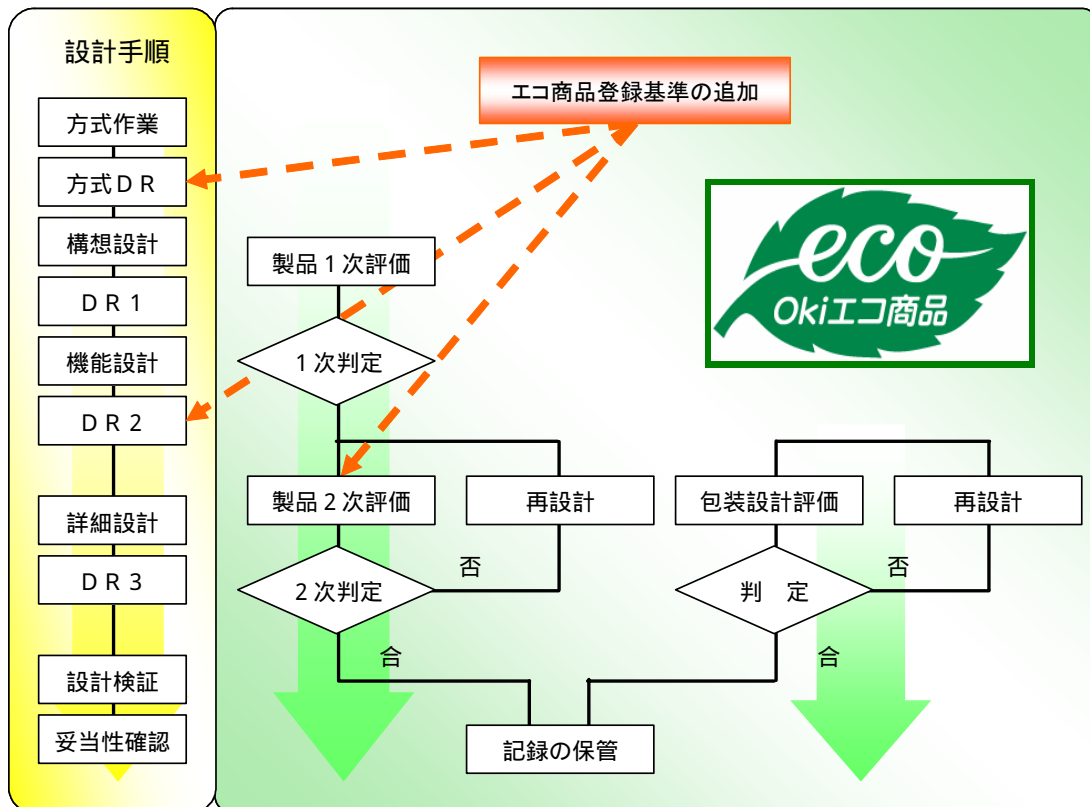


図7.2(1) 製品アセスメント実施手順の概要

## (2) 環境配慮型製品の開発

東京・幕張地区では、製品の使用および廃棄時の環境負荷低減を重点に対策を進めております。  
2002年度の「電力消費量」「小型軽量化」の削減目標は、40%以上に設定し取り組んでおります。(削減目標は、旧製品の機能あたり削減量を基準としています)

表7.2(1) 製品の小型化・省電力化設計実績

製品群等	対象機種数	小型化 (平均削減率)	省電力化 (平均削減率)
電話・交換・伝送装置	7	42 %	34 %
コンピュータ・テレフォニー統合装置	8	23 %	25 %

## (3) 製品含有環境影響物質の抑制

東京・幕張地区では、製品に含有される環境影響物質を積極的に削減するため、沖電気全社標準に基づいた独自の基準を制定し対策を進めております。

表7.2(2) 製品含有禁止・抑制物質の概要

規制区分	規制物質名称等	対象数	規制措置等
含有禁止物質	法令で製造が禁止されている物質など	88	製品への含有禁止
含有抑制物質	廃棄物処理法および地球温暖化法の規制対象物質など	182	含有部位/濃度の管理と使用抑制

設計段階において製品に含有される有害物質を把握し抑制するため、ネットワークとデータベースを活用した「製品含有環境影響物質管理・集計システム」を構築しております。本システムには、4万点以上の部品情報が登録されており、設計者が必要に応じて閲覧・集計することが可能です。

さらに、2002年度はライフサイクルアセスメントの自動化に向けたシステムの向上と鉛フリー化対応部品の情報の整備を行ってまいります。

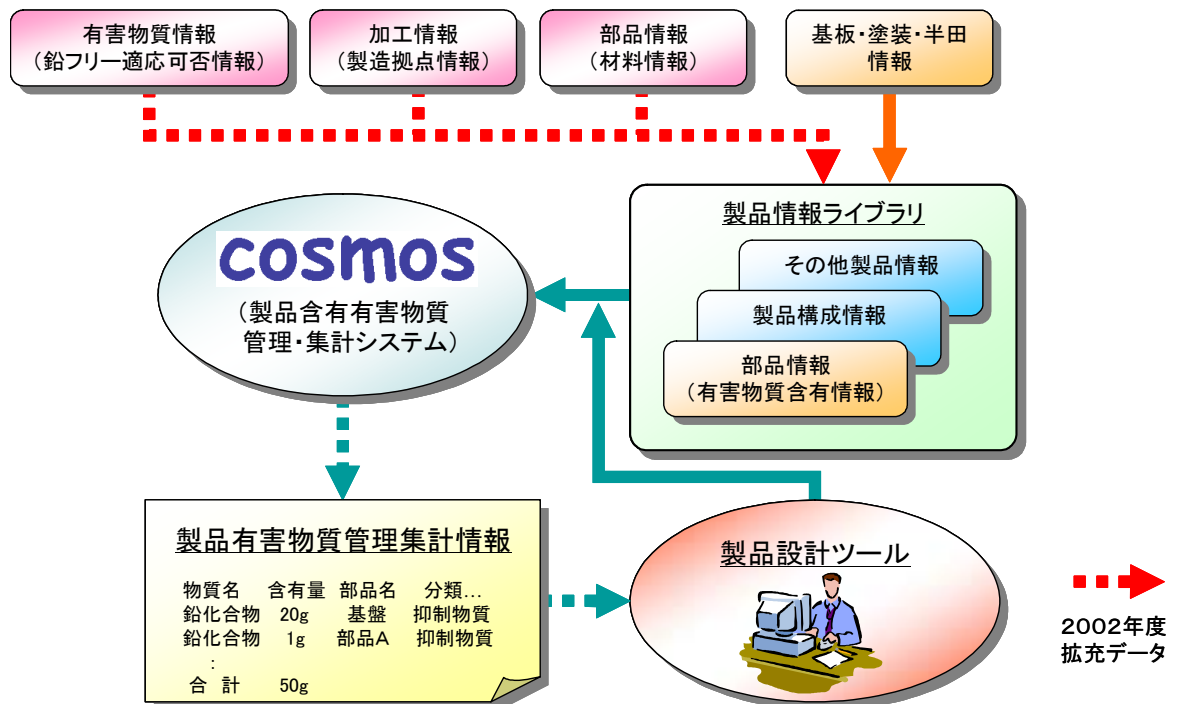


図7.2(2) 製品含有環境影響物質管理集計システムの概要

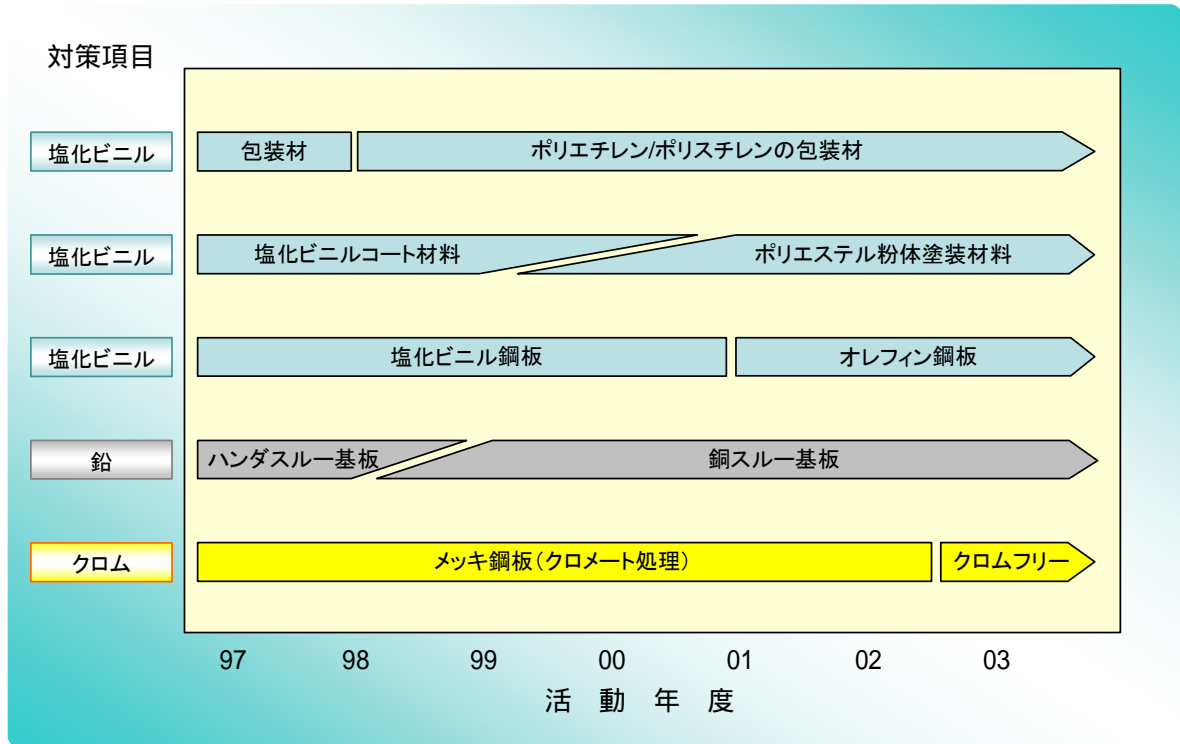


図7.2(3) 東京・幕張地区における環境負荷物質削減の取組み

(4) 使用済み製品のリサイクル

使用済み製品のリサイクル基準(情報通信システム独自基準)を構築し、高いリサイクル回収率と環境負荷の少ない処置を実施しています。製品のリサイクルに関する情報は、次期新製品の設計情報としてフィードバックされ、製品廃棄時の環境負荷低減に貢献します。



図7.2(4) 使用済み製品リサイクルの概要(事例:基板)

さらに、適切に分離・分別された部品等をできる限り環境負荷の少ないリサイクル方法で、回収処理（金属回収など）を行います。

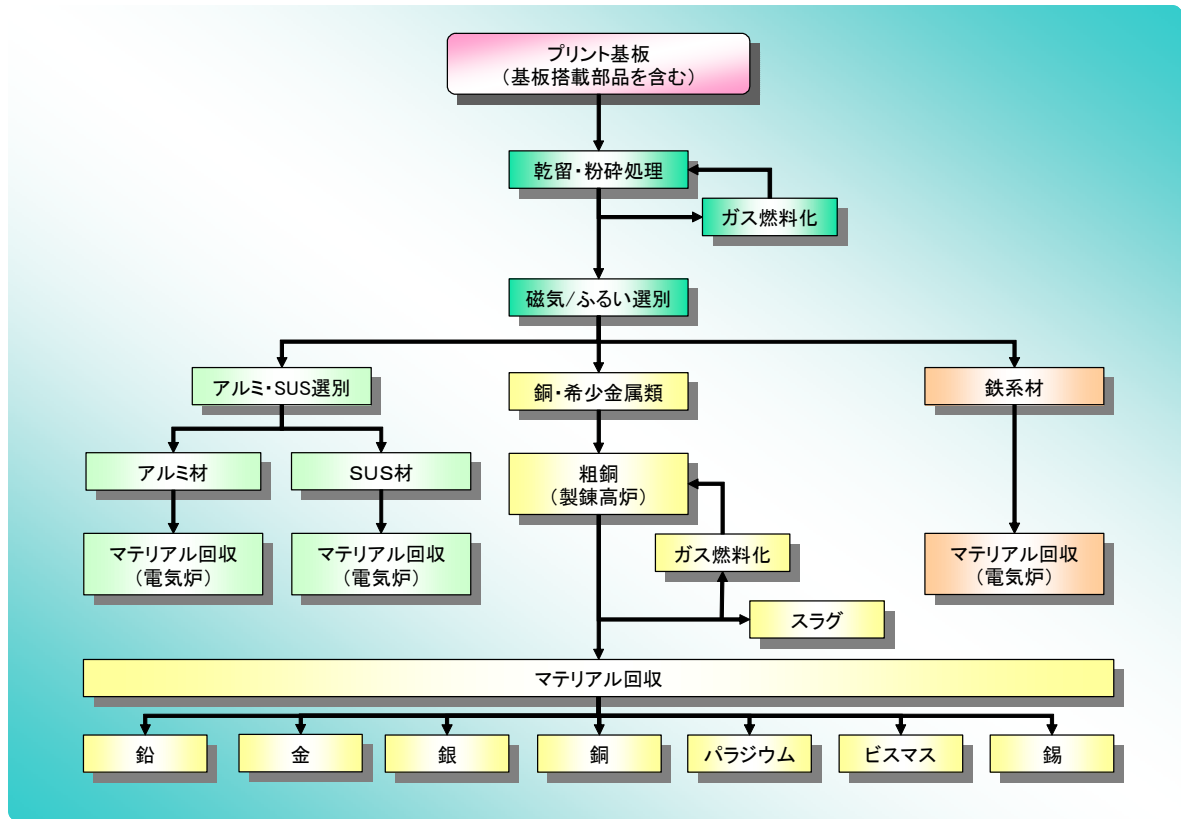


図7.2(5) 使用済み製品リサイクルの概要(基板の資源回収)

## 8. 問い合わせ先

沖電気工業株式会社 ネットワークシステムカンパニー  
品質保証センタ環境マネジメントシステムチーム  
〒108-8551  
東京都港区芝浦4丁目10番3号本社5号別館  
TEL:03-3454-2111 FAX:03-3798-7633  
担当者:大澤 和治, 緒形 博  
電子メール:ogata537@oki.co.jp